

議録:令和3年度 第2回明知鉄道沿線地域公共交通活性化協議会(要旨)

日時:令和3年10月28日(木) 10:00~11:00

場所:恵那市役所

1. 開会

- 事務局:本協議会規約第7条第2項(協議会員出席者 15/21 人中)により会議は成立していることを宣言。

2. 会長挨拶

- 会長:第二回目の活性化協議会である。新型コロナウイルスが低調となっており、いよいよ本格的に社会経済活動が動く。昨年度の新型コロナウイルスで様々な交通機関が大きな影響を受けた。一回目はやむなく書面決議であるが、計画の実現に向けて、運賃の設定や交通コンシェルジュ等地域を回りながら、地域によりよいものを目指して検討している。本日は進捗状況として、公共交通計画案の改定の素案として審議をしてもらいたい。
- 事務局:以降の議事進行は会長にお願いします。

3. 報告事項

- 会長:報告事項について事務局に説明を求める。
- 事務局:令和3年度事業進捗状況(資料1)
- 会長:ご意見はあるか。
- 明知鉄道:明知鉄道では一日乗車券を導入している。今後広域的に公共交通を活用して頂くために、MaaS やタクシーとの連携が必要である。一日自由に乗り降りしてもらうことが大切であり、このような取り組みは積極的に進めたい。
- 東濃鉄道:今年度から一日乗車券を発売している。東濃鉄道路線バスのみ利用となり、利用者にとってはどれも利用してもらえるのは便利になったと考える。
- 岐阜運輸支局:使いやすい運賃を設定すると新たな需要も期待される。タクシーは運賃制度が複雑であるため、工夫の余地がある。事業者にとっても減収にならないように配慮してもらいたい。
- 名古屋大学:コンシェルジュや運賃はいわゆるMaaSである。スマホで行うものと捉えがちだが、地域全体の個々のサービスを統合することが目的である。全国的にも事例があるため、ぜひ計画として絶対にやってほしい。タクシー料金は制度が複雑なので、スモールスタートが良いだろう。タクシー料金の設定は携帯電話の料金プランを参考にすると良い。利用額は一定額まで無料だが、それを超えると支払うような仕組みがあり、参考になる。駅や停留所から目的地が遠い方がタクシーや自家用有償運送を利用するようにできることが大切である。

また、交通案内を統一することが重要である。東濃鉄道の案内と自主運行バスの案内が別々にあるが、一体となった路線図を活用してもらいたい。鳥取市で案内看板や乗り場を見直したが、そういう見直しを検討中の街中循環バス運行の前までに作るなど進めてもらいたい。中津川市の案内の仕方と明知鉄道の案内の仕方とも整合が合うように進めてもらいたい。

4. 協議事項

- 会長:報告事項について事務局に説明を求める。
- 事務局:明知鉄道沿線地域公共交通計画(案)について(資料2)
- 会長:ご意見はあるか。
- 岐阜県:明知鉄道沿線地域公共交通計画は法定計画として見直しで、恵那市地域公共交通計画は任意の計画であるが、改定に合わせて法定計画にすることによってよい。
- 事務局:恵那市地域公共交通計画は任意計画として位置づけるが、明知鉄道沿線地域公共交通計画の関連計画として位置づけたい。そのため、法的には現行の位置づけのまま変更しない。
- 岐阜県:P69 のアウトカム指標について、「幹線(東濃鉄道)の合計の年間利用者数」は、策定当時に比べて路線の廃止があったが、目標値は変えなくても大丈夫なのか。
- 事務局:これから劇的に増えるとは考えづらいため、事務局で一度精査したい。
- 岐阜県:P68 の「ボランティア運転手養成講座の参加者数」のボランティア運転手は何をさすか。
- 事務局:自家用有償旅客運送をさしている。市内の2地域で運送されているため、その運転手をイメージしている。また無償のボランティア運送をやっている地域もあるため、そういった地域へも呼びかけしたい。
- 名古屋大学:恵那市地域公共交通計画を任意にすると、国補助が受けられない恐れはないか。
- 事務局:支局への事前確認で、法定計画の中で任意計画の位置付けができていれば問題ないと聞いている。
- 名古屋大学:補助を受けるために法定計画の中で必要な要件がある。補助のためだけに協議会を重層にするのは意味がないが、一方で明知鉄道沿線地域公共交通計画にバス関連を細かく記載することは冗長である。位置づけの部分をどういう書き方にするか運輸局に確認する必要がある。アウトカムに関して、ある種の下方向修正と思われるが、達成しうる目標にしないとやる気をそがれるため、精査してもらいたい。パブリックコメントでは検討中とするとい。目標値は事務局で考えるものではなく、この場でしっかりと議論して決める必要がある。
- 岐阜運輸支局:事前相談を受けており、任意計画として進めると聞いた。補助金を受けられなくなってしまうため、明知鉄道沿線地域公共交通計画と一体であるということの色濃く書

い て も ら っ た 方 が よ い と 考 え る 。
P2では計画の見直しを書いてあるが、計画期間を延伸した理由をお聞きしたい。

- 事務局:期間途中で見直した理由としては、昨年度、恵那市の任意計画を策定した中で、新たな取り組みや法律へ対応することの必要性があったため、見直しをかけた。当初計画の計画期間を継続とするとすぐに見直しになるため、新たに5年間分追加としたい。
- 名古屋大学:「はじめに」に書いてあるが、読みづらいと考える。入れたほうがよいこととして、法改正、明知鉄道沿線地域公共交通計画の見直しに加えて、コロナによって状況が変わりITの必要性が出てきたということだろう。これらが「はじめに」に色濃く出ているとよい。箇条書きで書いてもよいと考える。
- 事務局:今頂いた意見は訂正したものを皆様にお送りするようにしたい。
- 委員:異議なし
- 名古屋大学:2点伝えたいことがある。1点目は結節点である。ダイヤが少なく乗継が悪くても、ベンチがあれば寝たり、Wifiや電源があるとオンラインで仕事ができる。本数を増やすよりも待っている時間が無駄でないと思わせる仕組みが必要。場合によってはバス内や電車内でも何かできることがよい。その点では書いてあることが弱い。都市計画や施設配置の問題も関わっており、高山市では旧役場をバスターミナル・待合室化をしているが、都市計画課が交通の所管となっているため進めやすいが、恵那市ではそういった体制になっていないため、連携して考える必要がある。今朝恵那駅に早く着いたため駅前を観察していたら、8時台では駅前に多くのバスが発着する。例えば恵那駅に集まったバスから乗り継いで恵那病院にスムーズにいけるかみてみると、全くスムーズでなかった。GTFSを入れて検索しやすくなったが、スムーズに使いなければ逆効果である。一番コアな時間帯に、主要な目的地にいけるかどうかを検討する必要がある。
- 事務局:新ルートとして街中循環線を検討しているが、同時に他の路線のダイヤも見直し、スムーズに乗換できるように考えている。
- 名古屋大学:以前と比べて使いやすくなりましたといった形で宣伝すれば、一度は検索してもらえて、利用促進につながるだろう。運賃の統合で、JR東海が薄く書かれているが、この協議の場にJRに入ってもらったほうがよいと考える。また、JR東海は委員会の場でいろいろな自社企画をPRされるため、刺激になると考える。新型コロナウイルスでJR東海も赤字になっているため、運賃の統合を通した利用促進が必要と考えるが、JR東海へアプローチがない現時点ではこの地域では何も検討もされていないと思われる。
- 事務局:モードをまたいだ運賃ではJR東海が必要である。今からは約束が難しいが、委員の一人として入ってもらえるように調整していきたい。
- 会長:それでは協議事項の素案はご承認をいただく予定であったが、若干の加筆修正があるため、事務局の一任のうえで進めたい。

- 委員:異議なし
- 会長:それではこの計画に基づいて進めていきたい。

5. その他

- 岐阜運輸支局:公共交通シンポジウムの紹介
- 事務局:既存観光拠点の再生・高付加価値化推進事業の紹介
- 事務局:映画「僕と彼女とラリーと」の紹介
- 事務局:それでは第2回明知鉄道沿線地域公共交通活性化協議会を閉会する。

以上